

鍛錬坂



奈留高校
学校だより
第 8 0 号



■生徒感想文 二年一組 女子

人生の達人セミナー

十一月二十一日(水)に本校体育館において、平成二十四年度「心に響く人生の達人セミナー」が開催されました。今回は、プロデュースセンター長崎代表の川田金太郎様を講師に迎え、「伝えるということ」という演題で講演をしていただきました。講演では、川田様のこれまでの人生経験をもちに、唄も交えて熱く語っていただきました。講演していただいた内容(抜粋)は、以下の通りです。

①「ありがと」や「ごめんなさい」は、本当に心で思っていれば、言葉にしなくても態度に滲み出て、相手には伝わる。
②夢実現の三原則
一、決めること
二、始めること
三、続けること
川田様の口から出てくる言葉に、奈留高生徒・職員一同深く感銘を受けました。川田様、遠方までお越しいただき貴重なお話を誠にありがとうございました。

講師紹介

プロデュースセンター長崎代表 川田 金太郎 様

[川田様の経歴]

- ①雲仙市柔道協会理事、
- ②V7アーレン長崎スタジオADJ
- ③雲仙市中心の教育アドバイザー
- ④警視庁少年課非公式アドバイザー



※毎週日曜日21:00~21:30に長崎・佐賀ネットにてNBCラジオ長崎金太郎のがまだせラジオ番組のパーソナリティを務めておられます。



川田様の唄の披露

生徒・職員ともに聞き入っていました。

今日、人生の達人セミナーで講演を聞いて私が一番大事だと思ったことは、「強く思う」ということです。私も普段から「ありがと」や「ごめんなさい」などたくさん使っています。でも、きちんと気持ちが伝わっているかと言われると、伝わっていないような気がします。特に私は父に「ありがと」と伝えなければならぬのに何故か反抗してしまったり、恥ずかしくて言えないことがよくあります。「ありがと」という思いを強く心で思い、一度でもいいから、父に心から「ありがと」と伝えたいです。こんな思いがあったからなのか、父目線の曲を聴いたとき、泣きそうになりました。

あと一つ大事だと感じたことは、夢をかなえるには、「一、決める」、「二、始める」、「三、続ける」ということです。私は、三つ目の「続ける」ということが今まで出来ていなかったのだと思います。私は、「看護師」になりたいという夢があります。この夢は、絶対かなえるはずとずっと思っています。だからそのため出来ることを、自分のこの夢が叶うまで続けていきたいと思えます。そして、必ず夢をかなえて見せます。

第五回小中高合同かるた百人一首大会

十二月十四日(金)に、今年度最後の小中高合同行事となるかるた・百人一首大会が開催されました。昨年以上に各チームのレベルが拮抗し、熱戦の連続で会場は多いに盛り上がりました。

大会結果(団体一位) 高二江口剣心・豊田かこ

生徒感想) 「江口剣心」
私が今回優勝することができたのは、日頃の練習のおかげです。小学生も年齢差を感じないほど強かったです。下級生には負けられない」という強い気持ちの結果に繋がったのだと思います。来年も連覇目指して頑張ります。



校内マラソン大会

十一月六日(火)に第三十七回校内マラソン大会を実施しました。今年の大会は、生徒数が減少したこともあり、マラソン大会のみの実施となりました。当日は、風もなく絶好のコンディションで、全校生徒が奈留島の中心部を男子8km、女子4.5km走りました。全ての生徒が、自分に負けず全力を出し切りました。地域の方々の皆様、浴道からの応援ありがとうございました。また、大会運営にご協力いただいた保護者の皆様ありがとうございました。うんはととてもおいしかったです。

	男子		女子	
1位	大小瀬 詠太	1-1	福島 由夏	1-1
2位	葛島 克己	2-1	夏井 友菜	1-1
3位	京 慎平	2-2	城田 静希	2-1



郷土料理実習

三年生を対象に、魚のおろし方とかまぼこ作りの郷土料理実習を実施しました。かまぼこ作りは、今回が初めてという生徒がほとんどでしたが、郷土講師の先生方の丁寧な指導のおかげで、大変おいしく出来上がり、貴重な体験をすることができました。講師の皆さん、ありがとうございました。

長崎県総合文化祭



十一月四日(日)長崎県立総合体育館において長崎県高等学校総合文化祭開会式が開催されました。本校からも高文連加盟校代表として夏井友菜さんが参加しました。大きな舞台上に圧倒された。大きな舞台に圧倒された。大きな舞台に圧倒された。大きな舞台に圧倒された。大きな舞台に圧倒された。

第3学期の主な行事

1/8	火	第3学期 始業式
9	水	早朝補習開始 (1,2年)
19, 20	土日	大学入試センター試験
25	金	3年学年末考査 (~30日)
2/4	月	開校記念日
21	木	1・2年学年末考査 (~26日)
27	水	高3進路発表
3/1	金	卒業証書授与式
21	木	校内競技大会
22	金	終業式・離任式

九州大会

私たち野球部は、十月二十九日より行われた第四十回九州地区高等学校軟式野球大会に出場しました。準決勝、熊本県代表の開新高校と対戦しました。先制されながらも終盤に粘りましたが力及ばず3対5で惜敗しました。悔しい気持ちが大きかったですが、九州で通用する自信をつけることができました。この経験を活かし、来年の春は必ずリベンジを果たしたいと思えます。今回、支援してくださった全ての方々に感謝したいと思います。

野球部主将 京 慎平

県新人大会

■バドミントン部
団体戦

一回戦 対 佐世保東翔高
(2-3) 負



学年だより

一学年から
主任 小佐々慎也

早いもので、今年も残すところあとわずかとなりました。生徒諸君においては、この一年で学習や部活動、行事を通して、今までにはない様々な経験を積んだことと思えます。ここで、今までの自分を振り返って見てください。高校入学後に立てた目標には近づいているでしょうか。近づいたための努力は続けているでしょうか。指導は素直に受け

ていますか。その場しのぎの行動を取っていないですか。先日の期末考査でも学習が不十分な生徒がいました。時間は待つてはくれません。反省と計画の修正を繰り返して、少しずつ目標との距離を縮めていってください。苦手なことに対しても、我慢して取り組むことで人として一回り成長することができているのではないのでしょうか。一年生としての時間はあと三ヶ月です。限りある時間の中で、最大限の努力を！

二学年から
主任 種川彰子

「部活も筋力が続く辛いことも多いが、次のシーズンのために頑張ろうと思う。」これは、ある男子生徒の一日の感想です。先を見据え、今努力する姿勢を身につけることのできたのだ、と嬉しく思いました。

二学期末の考査が終わり、いよいよ二学年最後の学期を迎えます。この四ヶ月、生徒たちは日ごろの活動に懸命に

取り組み、一歩ずつ自分の希望する進路に向けて歩き出しています。特に総合的な学習の時間(奈留実践)において、それぞれの志望進路について研究を行い、「自分が今なすべきこと」を実感した生徒が多かったようです。来学期は二年生三学期であると同時に「三年生0(ゼロ)学期」です。最高のスタートが切れるよう、ご家庭におかれましては、冬休みの過ごし方、来年の目標等についてお話しいただければ幸いです。

三学年から
主任 上戸秀龍

岩手・花巻東高校の大谷翔平選手が、米メジャーリーグへの挑戦を表明して話題になりました。結果、日本ハムへ入団することとなり、誰もが、前途洋々たる若者が自らの将来のビジョンを壮大かつ明確に描き、その実現に向けて現時点でのベストと思える選択をするという姿は、高校生の進路決定の在り方として好例ではなかったかと思えます。この一年、三年生の生徒たちも一人ひとりが自らの進路と真剣に向き合い、将来を模索してきました。人生の大きな壁を乗り越え、現在のところ無事に進路決定することができています。年が明ければいよいよ「全員進路実現」のための最後の戦い、大学入試本番です。最後まで応援よろしくお願

いいたします。寒くなってきましたが、健康管理に気を付けて良い年を迎えましょう。新学期に生徒たちの元気な姿を見ることが楽しみにしております。



校長室から
校長 小林 勝

最近よく目にする言葉に「社会人基礎力」というものがある。具体的には次の三つの力から成る。

- ①「前に踏み出す力」：主体性・実行力・働きかけ力
- ②「考え抜く力」：課題発見力・計画力・創造力
- ③「チームで働く力」：発信力・柔軟性・規律性・傾聴力・状況把握力・ストレスコントロール力

「基礎力」とはいうものその簡単に身につく力ではない。私自身どれだけ備わっているか、点数化されたとすると少し躊躇する。だからというわけではないが、生徒諸君に卒業までに習得しておきなさいと言いつもりはない。まず日々の生活を振り返ってみよう。自ら進んでなしていることがあるか。向上心を持つ計画的に取り組んでいるか。自分の所属する集団(家族やクラス等)のことを考えて行動しているか。些細なことでもいい。挙げてみてほしい。

学校生活は、社会人になるための準備の期間である。勉強や部活動、掃除や学校行事、すべての活動の中でこの社会人基礎力を育むことが出来る。まず意識することから始めよう。

職員
高留 奈留



「巡り会い」
小佐々 慎也

「得難きは時、合い難きは友」ということわざをご存じでしょうか。良い機会や良い友人と巡り会うのは難しいという意味です。私はこれまでたくさんの人と巡り会い、そのたびにいろいろな方に助けていただいていたと思います。とても運が良いのだと思います。高校時代の恩師、友人、職場の同僚そして家族。周りの方々の多くの支えで今の私があります。みなさんとの出会いもすばらしい巡り会いです。特に、高校一・二年生は他の学校では絶対に見ることのできない中学生からの成長を見ることができています。こんなことってなかなかないですよ。皆さんもこれから大人になり、島を出てたくさんの人と巡り会っていくと幸いです。常に感謝の気持ちを持ち、一つひとつの巡り会いを大切にしてください。